



来週の投資戦略 (12/5-9)

先週金曜日の全面安を考えると

2022年12月4日

小松 徹

注目事項 - 見所

12月5日、11月の米ISM非製造業景況指数 — 53.5?

12月6日、10月の家計調査 — 全世帯消費支出は前年比+0.9%?

株式市場見通し

先週金曜日の日米の株式市場の動きは不思議なくらい対照的だった。わが国では日経225とTOPIXが共に1.6%下落、全面安となった。特に前場は積極的な売りが入り、一直線で下げた。TOPIXの下落率が2.004%となったため、日銀が6月以来市場で701億円の買い入れを実施した。これにより、後場はやや持ち直した。全面安の要因は米ドル・円相場が株式市場明け前に3円円高になったこともあるが、それだけではなさそうだ。一方、米国の11月の雇用統計が米国市場明け前に発表され、多くの市場関係者は驚いたはずだ。平均時給が前月比+0.6%、前年比+5.1%と予想の+4.6%を大きく上回って、雇用の強さを示した。それにも拘わらず、米財務省証券10年債利回りは前日比0.02%ポイント低下、3.49%となり、ナスダック市場は0.18%下落で済んだ。

わが国市場が売られた要因には少なくとも三つありそうだ。まず、木曜日午後2時に発表された11月の消費動向調査が前月比マイナス1.3の28.6と3カ月連続低下して、前回の景気後退期と同水準となった。来週火曜日に10月の家計調査が発表されるが、全世帯の消費支出の弱さが際立つだろう。次に、金曜日に厚生労働省が医薬品の市場での取引価格調査を発表した。公定価格を平均7%下回ったので、来年4月の薬価引き下げにつながると見られた。金曜日は医薬品銘柄の下落が2.6%と業種別では最大だった。最後に、来年度から大幅増額となる防衛予算の財源案だ。岸田首相は当初法人税からと言ったが、財界から反対されると、鈴木財務相と相談して幅広く財源を求めると変更した。これに対して自民党の旧安倍派閥から反対意見が相次ぎ、国債の発行を主張する声が高まった。来年度以降増税となれば、個人消費は来年の春闘の賃上げが期待通りとなっても、全世帯では厳しくなる。

ところで、11月第4週も外国人投資家が現物市場で40百億円買い越して、11月に入ってから買い越し基調が鮮明となった。一般的に年金など中長期資金を運用する機関投資家は成長株を好むが、11月の騰落表ではTOPIX500割安株の上昇率が4.00%と突出していたので、通常とは違う業種選別をしている可能性が高い。

最後に、防衛予算の財源を主として国債に求めた場合の懸念について。丁度来年の春に日銀の黒田総裁から新しい総裁に代わっているだろうから、これまでのイールド・カーブ・コントロール(YCC)が変更されるだろう。その際に、国債の増発などを材料に長期金利が急速に上昇する可能性もあろう。例えば、現在の0.25%が倍の0.5%以上に。

KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。